

論文要旨

1. 劉 珊(リュウ サン)(中国)

中国における日本のスポーツアニメの異文化伝播 —BiliBili 調査に基づいて—

キーワード: スポーツアニメ、日中比較、BiliBili、受容状況、異文化伝播

要旨:

日本の多様なアニメーションは、現在数多くの中国視聴者を魅了し、身分、性別、年齢を問わず幅広い層に受けられている。その中で、スポーツアニメも中国で一定の視聴者層の関心を集めている。「スラムダンク」が中国に流入してブームになって以降、様々なスポーツアニメが中国に入り、近年「風が強く吹いている」や「ハイキュー!!」なども注目されている。

本論文では、日本のスポーツアニメは中国でどの程度注目されているか、中国で注目されているスポーツアニメは日本でも人気なのか、その間に生じる受容状況の異同の理由は何かを明らかにしたい。

以上の疑問を解決するために、BiliBili というアニメーションを特色とする中国のアプリで観ることができる日本のアニメーションの閲覧回数、評価などのデータを集計する調査を行った。

スポーツアニメは、日本のアニメーションの全体の中で、構成比や注目度がファンタジー・アクションなどのジャンルほど高くないものの、幾つか人気がある作品がある。本論文は BiliBili アニメーション調査で、閲覧回数が最も高い4つの作品を対象とし、中国と日本の受容状況を分析し、またその理由を考察する。

2. シェイバーニ, マリヤン(イラン)

侘び寂び: 日本美学の核心とその異文化的視点 —茶道と金継ぎ—

キーワード: 侘び寂び、茶道、金継ぎ、イランの文学

要旨:

「侘び寂び」は日本独自の文化の 1 つである。美的視点から不完全なものを美しいと見なして賛美することを侘び寂びと呼ぶ。この概念は、「茶道」や「金継ぎ」のような、日本の伝統文化の形成において、大きな役割を果たしてきた。

茶道は、礼儀作法を通じて精神を高めるため、亭主と客がともに行う行為である。金継ぎとは、割れたり欠けたりした陶磁器を漆で接着し、継ぎ目に金や銀、白金などの粉を蒔いて飾る修理方法である。

本論文では、茶道と金継ぎに見られる侘び寂びの影響を説明する。侘び寂びの本来の理念では、金銭に頼ることなく、素朴で足りない美しさを尊ぶ。しかし現在、この 2 つは文化的な側面だけでなく、商業的・娯楽的な側面も持つようになってきている。これは、侘び寂びの本質と矛盾するのではないだろうか。伝統文化を市場価値に基づいて評価すると、本来の美を失う恐れがある。その評価を避ける必要があるのではないだろうか。

また、金継ぎの「過ちを犯すことを悪いこととして捉えない」という見解を、日本とイランの文化で比較し、イランの文学の中に類似点を見つけた。

3. チャン ティ キム トア(ベトナム)

日本とベトナムの「孤食」の比較研究 —若者を中心に—

キーワード: 孤食、共食、日本とベトナムの比較、孤食の捉え方

要旨:

「孤食」とは一人で食事をすることである。現在、日本では「孤食」が増加している。それに対し、ベトナムではこの現象は比較的新しく注目されることは少ない。この両国の背景を踏まえつつ今後の状況を予想し、若者を中心に「孤食」という現象についての印象、考え、意識を明らかにすることを本論文で目的としている。

本論文では、日本とベトナムそれぞれの国の「孤食」の状況と特徴を紹介する。また、岐阜大学とフェ大学外国語大学の学生を対象としたアンケート調査を行い、アンケート調査結果を分析・考察する。

結果としては、両国の学生とも自分の孤食についても他者の孤食についても過度にネガティブと感じていないことが明らかになった。一方、孤食をポジティブに捉えるかについては、日本人学生にはわずかながらそう考える回答があったが、ベトナム人学生には一つもなかった。「孤食」に関する意識は両国に違いがあるが、生活の中の食事の大切さを否定する人がいないことは同一であった。

4. 林 奕軒(リン エキケン)(中国)

あいづちについて —中国人留学生の視点から見る—

キーワード: あいづち、日本語母語話者、中国人日本語学習者、日中比較

要旨:

日本語では、話し手が発話権を行使している間に聞き手が送る短い表現はあいづちと呼ばれる。あいづちの基本的な機能は、聞き手が「聞いている」という合図を表すものであるが、会話を円滑に進める上で重要な役割を果たしている。一方、あいづちの表現形式が豊富であるため、使い分けることが大切である。しかし、中国人日本語学習者は、あいづちの重要性に気づきながらも、適切にあいづちを使い分けることに困惑する人が多いという。

本論文では、あいづち表現の捉え方に着目し、日本語母語話者と中国人日本語学習者を対象に、アンケート調査を行った。調査結果をもとに、日本語母語話者と中国人日本語学習者の捉え方を比較し、考察した。

アンケートの結果から、中国人日本語学習者と日本語母語話者の捉え方には大きな違いが見られた。中国人日本語学習者の不適切なあいづちの捉え方には、あいづちの待遇度に対する理解の不十分さと、中国語の発音に近いことばの使用経験という二つの要因があると考えられる。

5. サントン, スパウィット(タイ)

日本語の文字のイメージ —日本人とタイ人日本語学習者の視点からの比較—

キーワード: ひらがな、カタカナ、漢字、文字のイメージ、日本人とタイ人の比較

要旨:

日本語にはひらがな、カタカナ、漢字の3種類の文字がある。それぞれの文字の書き方と形が異なり、読む人に異なる印象を与える。日本人とタイ人日本語学習者の視点から、ひらがな、カタカナ、漢字に対してどんなイメージを持っているか、また、日本人とタイ人日本語学習者の日本語の文字のイメージには共通点と相違点があるのかを知るため、日本語の3種類の文字のイメージについて研究をすることにした。

本論文では、日本語の3種類の文字のイメージに注目して、日本人とタイ人日本語学習者を対象にアンケート調査を行った。調査結果をもとに、文字のイメージに対する日本人とタイ人日本語学習者の考えをまとめ、そこから日本人とタイ人日本語学習者の文字のイメージを比較、分析、考察した。

研究の結果、日本人とタイ人日本語学習者の視点から、ひらがな、カタカナ、漢字はそれぞれの独自のイメージがあることが分かった。また、日本人とタイ人日本語学習者の日本語の文字のイメージはいくつかの共通点があると同時に相違点もあることが明らかになった。